

島田莊司（作詞作曲）

オペラ

黒船

阿部正弘と謹子

2023年(令和5年)10月16日(月)

昼公演：開場15:00、開演15:30

夜公演：開場18:30、開演19:00

渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

入場料 6,000円(自由席)

演奏会形式・未就学児入場不可

作詞作曲／島田莊司
編曲／中山博之
演出／田尾下哲

ヴァイオリン／高井敏弘

エレクトーン／清水のりこ

<キャスト>

阿部正弘／村上敏明
謹子(昼公演)／山口安紀子
謹子(夜公演)／藤井泰子
福山藩士・江木鰐水／塩塚隆則
福山藩士・石川和介／村松繁紀
福山藩士・門田朴齋／土崎 讓

山伏の頭領・結衣肖六／小野弘晴
腰元のお篠／辰巳真理恵
村娘／中原沙織
村娘／唐沢萌加
村娘／鈴木遥佳
男声合唱／オペラ黒船合唱団

チケット
取扱

【WEB予約】
カンフェティ
<http://confetti-web.com/opera-kurofune>



【電話予約】
カンフェティチケットセンター
0120-240-540 (受付時間 平日10:00~18:00)

主催 オペラ「黒船～阿部正弘と謹子」実行委員会
お問合せ opera.kurofune@gmail.com

オペラ 黒船

阿部正弘と謹子



作詞作曲／島田荘司



編曲／中山博之



演出／田尾下哲

◆ あらすじ ◆

嘉永六(一八五三)年、江戸湾に来航した四隻の黒船により、日本は鎖国の眠りから揺り起こされます。当時の世界は大半列強の植民地で、かろうじて独立していたのは、アジアではタイと日本だけでした。

未曾有の国難に対処したのは、江戸で老中首座の地位にあった福山藩主、阿部正弘でした。しかし当時の阿部は、若干三十代、愛妻家であった彼ですが、妻謹子は闘病の床にあり、自身も病が進行していて、状況は劣悪でした。

加えて幕府の財政はひっ迫、内政は波乱含み、侍の世は、もう誰の目にも末期にかかっています。こんなおり、老中が務められる逸材は、城中に阿部のほかはありません。しかし幕府の武備は関が原時代のまま。海軍はなく、大砲の飛距離は黒船の砲の四分の一。しかし彼は側近とともに、黒船がもしも植民化を要求するなら、一命を捨てて戦う決意を固めます。

そんなおり、江戸を戦火に巻き込まないで、大勢の罪なき民が苦しみます、そう言いおいて、謹子が正弘の腕の中で没します。いったいどうすればよいのか——、正弘は苦しみます。出逢いの頃の夢のような日々はもはや幻。眼前に残されたものは、ただ葛藤と、亡国の危機のみでした。

CAST

阿部正弘



村上敏明 (テノール)

謹子 (昼公演)



山口安紀子 (ソプラノ)

謹子 (夜公演)

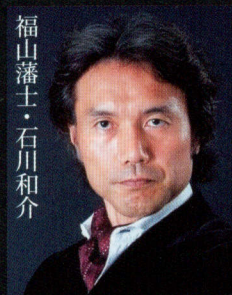


藤井泰子 (ソプラノ)



福山藩主・江木鰯水

塩塚隆則 (テノール)



福山藩士・石川和介

村松繁紀 (バリトン)



福山藩士・門田朴斎

土崎 譲 (テノール)



山伏の頭領・結衣肖六

小野弘晴 (テノール)



腰元のお篠

辰巳真理恵 (ソプラノ)



村娘

中原沙織 (ソプラノ)



村娘

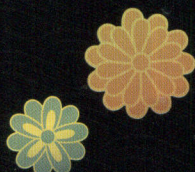
唐沢萌加 (ソプラノ)



村娘

鈴木遥佳 (ソプラノ)

男声合唱
オペラ黒船合唱団



ヴァイオリン／高井敏弘



エレクトーン／清水のりこ